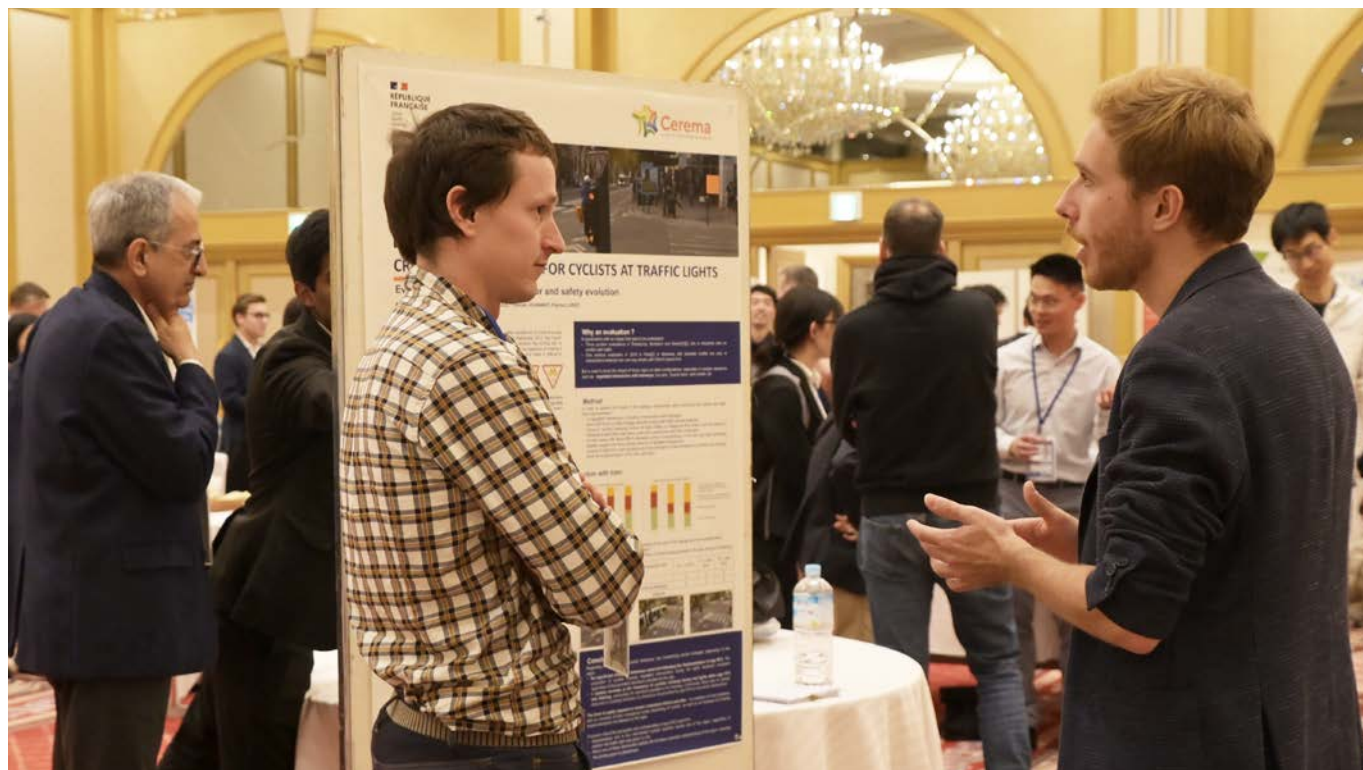




アジア初！国際自転車安全会議が愛媛県今治市で開催 ～サイクリストの聖地から自転車の安全と未来を共に考える～

愛媛県今治市において、アジア初の『国際自転車安全会議 (ICSC2024)』が11月5日から7日にかけて開催されました（主催：公益財団法人 国際交通安全学会）。国際的な自転車の安全文化の発展を図るため、欧米や日本・アジアから約180名の自転車安全分野の専門家や研究者が参加され、最新の研究成果や知識を共有し、安全対策について議論がなされました。

研究に関するワークショップや研究発表に加え、瀬戸内しまなみ海道を自転車で体験するテクニカルツアー、高度交通情報システム (ITS) 対応の無線装置を使用した自転車と自動車との通信による交通事故回避のデモンストレーションなども行われました。



サイクリストの聖地から発信

四国と本州を結ぶ瀬戸内しまなみ海道（西瀬戸自動車道）の四国側の起点となる今治市。青い海と緑豊かな島々、その風景に溶け込むさまざまな7本の橋で繋がる瀬戸内しまなみ海道は、圧倒的な絶景が楽しめる全長約70kmのサイクリングロードが備わり「サイクリストの聖地」とも呼ばれています。令和元（2019）年11月には日本を代表する「ナショナルサイクルルート」の指定を受け、米メディアで「世界の最も素晴らしい7大サイクリングコース」の1つにも選ばれています。

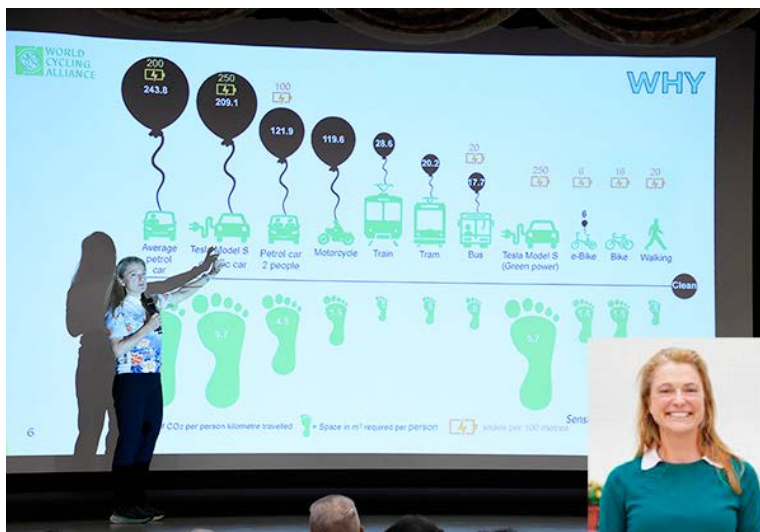
今回の国際会議は、サイクリストの聖地・今治「しまなみ海道」から、自転車の安全文化をテーマに、科学的な研究を通じて自転車の安全を高め、国際協力を促進する絶好の機会となりました。

国際自転車安全会議 ICSC2024 keynote speaker Sara Staceさん

“瀬戸内しまなみ海道はオーストラリアでも人気のコースで、今回の国際会議への出席に合わせて「サイクリングしまなみ2024」に夫と2人の息子と一緒に参加させていただきました。

景色がとても美しく、コースも本線への登り口（ループ橋）やトンネルなどとてもユニークで、ボランティアの方々のおもてなしや組織運営も本当に素晴らしいと感じました。

また、ブルーラインは非常に分かりやすく、初めて走る人でも道に迷わず走行できるのは心強いですし、駅前のターミナルは、自転車が借りられて、荷物も預けられて、シャワーも浴びられる。サイクリストにとって利便性の高い施設だと感じました。”



2年に1度の国際サイクリング大会 「サイクリングしまなみ」は日本最大規模！

サイクリストの聖地を舞台に、さまざまなイベントが行われており、Sara Staceさんも参加されたのが、高速道路を規制し、自転車で本線を走ることができる日本最大規模の国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」（2年に1度の隔年開催）です。

10月27日の2024大会では、初心者やファミリーで楽しめる40kmのライドから瀬戸内海を縦断する140kmの今治・尾道往復コースまで、幅広いレベルの人が楽しめる全8コースを設定。全国すべての都道府県と27の国・地域から訪れた3,446人の参加者には、高速道路上をサイクリングする開放感に魅せられたリピーターも数多くみられ、橋上での爽快さに思わず「サイコー！」と声をあげながら走る姿がありました。

瀬戸内地域ならではのおもてなしも本大会の魅力の1つです。沿道での応援をはじめ、エイドステーションでは島ごとに受け継がれてきた郷土芸能が披露され、加えて、地元のおいしい食べ物や特産品がふるまわれるなど、島に住む人々の温かいおもてなしの心を感じていただける大会となりました。



ここでしか「できない体験」と「見られない景色」がある

海の上を自転車で走る「ここでしかできない体験」と、瀬戸内しまなみ海道沿線の刻々と変わる潮流や多島美などの自然、その間を大小の船舶が行き交う「ここでしか見られない景色」を味わいに来てみませんか。



プロモーション動画 (Sea Area ver) 3分24秒
<https://youtu.be/Hc7cZqCZTfY>



プロモーション動画 (Land Area ver) 4分22秒
<https://youtu.be/JTaqpAxK6CM>

自転車は持って行かなくてもO.K！ 「しまなみレンタサイクル」

しまなみ地域のサイクリング人気を支えているのが、レンタサイクル事業です。現在は今治市と広島県尾道市それぞれに5つのターミナルを設け、どこでも返却できるよう乗り継ぎシステムを整備しています（令和4（2022）年4月から一般社団法人しまなみジャパンで運営）。

車種もクロスバイクやシティサイクル、子ども用自転車、チャイルドシート付き自転車、電動アシスト付き自転車、Eバイク、2人乗りのタンデム自転車など豊富に取り揃えており、スケジュールや体力に合わせて楽しむことができます。また、パンクなど自転車トラブルの際には、スタッフが駆け付け、自転車を交換するなど、サポート体制も充実しています。



新たな楽しみ方「ササ飯」

さらに新たな楽しみ方として、サウナや温泉で疲れを癒やし、おいしいご当地グルメやスイーツでお腹を満たしてもらう「ササ飯」を推奨しています。ササ飯とは、「サイクリング × サウナ・温泉 × 飯・スイーツ」の略称です。

ササ飯がどんなものか？知りたい方はこちらをご覧ください。
 ササ飯事業公式ホームページ「ササ飯 ととのう、今治。」
<https://imabari-sasameshi.jp/>



今治・しまなみ自転車大使「SHIMANAMI Ambassador」 道端カレンさん

美しく、自転車にやさしいまちに惹かれています

“今治伯方島トライアスロンが開始した平成29(2017)年から参加したのがきっかけで、「瀬戸内しまなみ海道」の美しさに感動し、何度も訪れるようになりました。自転車で全国を回りますが、今治はすぐ自転車にやさしいまちだと思います。景色の素晴らしさはもちろん、自転車で走るうえでの快適さや安全面、レンタサイクルバイクなどの便利さなどが評価されて、海外からもたくさんの方がいらっしゃっているんだと思います。今治で日ごろから生活の移動手段に使ったり、休日にサイクリングを楽しめる環境がとてもうらやましいです。自転車はココロとカラダの健康づくりの強い味方。ぜひ、皆さんに自転車に乗ることをお勧めしたいと思っています。”



すべての自転車利用者にやさしい自転車のまち 「サイクルシティ IMABARI」の実現に向けて

安全が何より大切。ヘルメットの着用率は全国でダントツの1位！

愛媛県は自転車用ヘルメット着用率が約7割と全国でダントツのNo.1を誇ります(「自転車乗車用ヘルメット着用率調査結果 令和6(2024)年警察庁調べ」)。

今治市では、市民向けのヘルメット等の購入補助や、子どもからお年寄りまできめ細やかな交通安全教育などの取組を推進しており、市民の意識向上、安全で快適な自転車ライフをサポートしています。

また、ナショナルサイクルートの起終点であるサンライズ糸山からJR今治駅を結ぶ市道の幅員を再配分し、自転車専用通行帯を設ける整備を進めています。

日本初！自転車国際会議(Velo-city)の招致

また愛媛県は、世界中の自転車の研究者、有識者、愛好家など(1,000～1,500人規模)が集まって、観光、安全利用、都市計画などさまざまな議題について議論する世界最大級の「自転車国際会議(Velo-city)」の日本初開催を目指し、主催する欧州サイクリスト連盟に開催地として立候補を届け出ています。

今治市は、愛媛県と連携してVelo-City開催誘致の機運を盛り上げるとともに、引き続き自転車が安全・快適に利用できる環境を計画的に整え、すべての自転車利用者にやさしいまち「サイクルシティ IMABARI」を目指します。

関連
サイト情報

- 今治市公式ホームページ <https://www.city.imabari.ehime.jp/>
- 国際自転車安全会議 ICSC2024 ホームページ <https://www.icsc2024.net/>
- サイクリングしまなみ2024 ホームページ <https://cycling-shimanami.jp/>
- しまなみレンタサイクルホームページ <https://shimanami-cycle.or.jp/rental/>
- 今治市戦略的情報発信プロジェクト [https://prtimes.jp/story/detail/xJQ2GZFz4EB](https://prt看mes.jp/story/detail/xJQ2GZFz4EB)

【本件に関するお問い合わせ】

今治市役所

サイクルシティ推進課

✉ cyclecity@imabari-city.jp

☎ 0898-36-1547

【戦略的情報発信プロジェクトについて】

今治市役所

秘書広報課

✉ hisyokouhou@imabari-city.jp

☎ 0898-36-1634